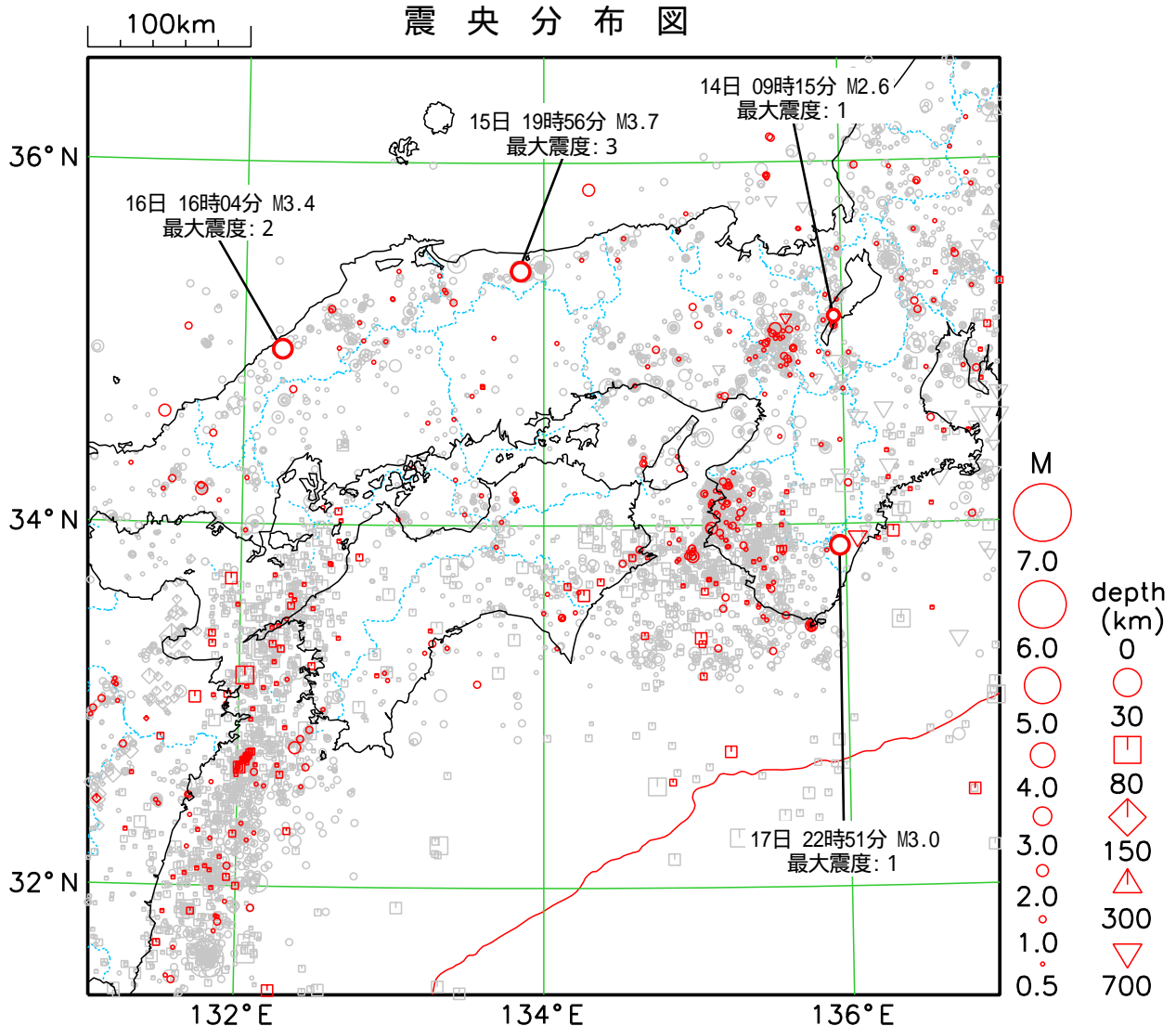


大阪管区気象台

週間地震概況

2022年8月12日～8月18日(地震回数426)



- ・管内で震度1以上を観測した地震には、その地震に吹き出しを付加し、最大震度を記載する
- ・赤色は2022年8月12日～8月18日の震央を、灰色は対象期間から3ヶ月前までの震央を示す
- ・Mはマグニチュードを表す

概況

この期間、管内で震度1以上を観測した地震は4回でした。
このうち管内で震度3以上を観測した地震は1回でした。

【鳥取県中部の地震】

15日19時56分、鳥取県中部の地震(深さ11km、M3.7)により、鳥取県倉吉市で震度3を観測したほか、鳥取県、島根県、岡山県、香川県で震度2～1を観測しました(別紙参照)。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

この資料は速報であり、後日の調査で変更することがあります。

8月12日から8月18日までの大阪管内で震度1以上を観測した地震

地震発生時刻 各地の震度（大阪管内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	最大震度
2022年08月14日09時15分 滋賀県 震度 1 : 野洲市西河原*	滋賀県南部	35°08.9 N	135°56.7 E	14km	M2.6	1
2022年08月15日19時56分 鳥取県 震度 3 : 倉吉市葵町* 震度 2 : 八頭町船岡*, 倉吉市関金町大鳥居*, 湯梨浜町龍島*, 北栄町由良宿*, 北栄町土下* 震度 1 : 鳥取市鹿野町鹿野小学校*, 鳥取市用瀬町用瀬*, 鳥取市鹿野町鹿野*, 鳥取市青谷町青谷*, 鳥取市気高町浜村*, 鳥取市河原町渡一木*, 倉吉市岩倉長峯, 三朝町大瀬*, 琴浦町赤碓中学校*, 琴浦町徳万*, 湯梨浜町泊*, 日吉津村日吉津*, 日南町生山*, 日南町霞*, 鳥取日野町根雨*, 江府町江尾* 岡山県 震度 2 : 鏡野町上齋原*, 真庭市蒜山下和* 震度 1 : 津山市小中原*, 津山市新野東*, 津山市加茂町*, 新庄村役場*, 鏡野町井坂*, 鏡野町富西谷*, 鏡野町竹田*, 真庭市下方*, 真庭市禾津*, 真庭市豊栄*, 真庭市蒜山下福田*, 真庭市蒜山上福田*, 岡山北区御津金川*, 岡山北区建部町* 鳥根県 震度 1 : 隠岐の島町都万* 香川県 震度 1 : 高松市国分寺町*	鳥取県中部	35°24.1 N	133°50.6 E	11km	M3.7	3
2022年08月16日16時04分 鳥根県 震度 2 : 江津市江津町*, 江津市桜江町川戸* 震度 1 : 浜田市大辻町, 浜田市三隅町三隅*, 浜田市旭町今市*, 大田市温泉津町小浜*, 川本町川本* 広島県 震度 1 : 北広島町川小田*, 北広島町大朝*, 広島安佐北区可部南*	鳥根県西部	34°57.9 N	132°15.0 E	12km	M3.4	2
2022年08月17日22時51分 和歌山県 震度 1 : 田辺市本宮町本宮*	三重県南部	33°52.8 N	135°57.6 E	18km	M3.0	1

(注)

*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

8月15日の鳥取県中部の地震について

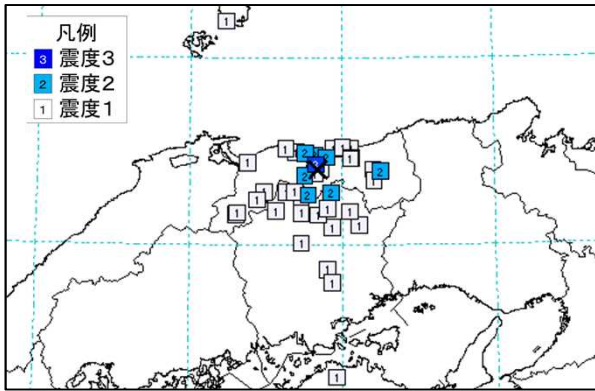


図1 震度分布図(xは震央)

15日19時56分、鳥取県中部の地震(深さ11km、M3.7)により、鳥取県倉吉市で震度3を観測したほか、鳥取県、島根県、岡山県、香川県で震度2～1を観測しました(図1)。この地震は地殻内で発生しました。

1997年10月以降の地震活動をみると、今回の地震は2016年10月21日に発生した鳥取県中部の地震(M6.6)の後、地震活動が活発になった領域で発生しています(図2)。また、今回の地震の震源付近(図2の領域a内)ではM3.0以上の地震が時々発生しています(図3)。

1919年1月以降の地震活動をみると、今回の地震の震央周辺(図4の領域b内)では、M6.0以上の地震も発生しています(図4、5)。このうち、1943年9月10日の鳥取地震(M7.2)では、死者1,083名、負傷者3,259名、家屋全壊7,485棟などの被害が発生したほか、土木構造物への被害も生じています(日本被害地震総覧による)。

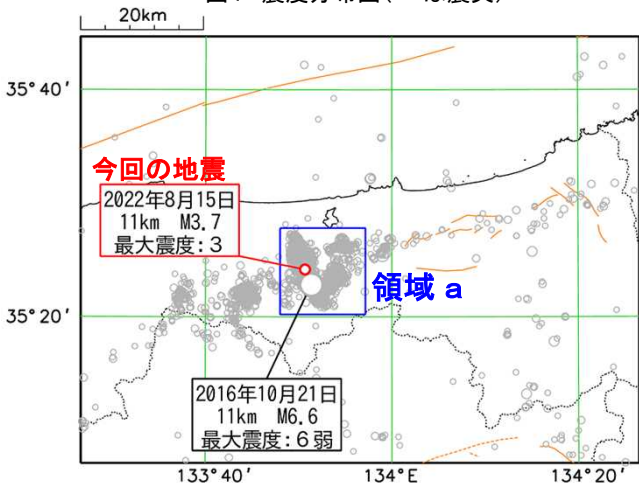


図2 震央分布図

(1997年10月1日～2022年8月18日、深さ0～20km、M \geq 1.5)

※2022年8月1日以降の地震を赤く表示

図中の橙線は地震調査研究推進本部による活断層

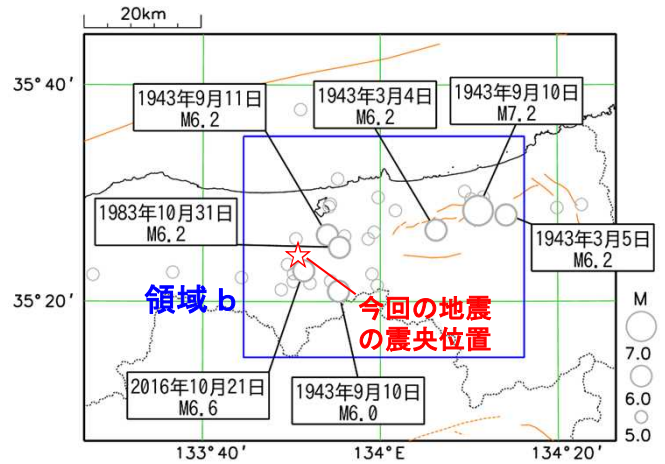


図4 震央分布図

(1919年1月1日～2022年8月18日、深さ0～100km、M \geq 5.0)

図中の橙線は地震調査研究推進本部による活断層

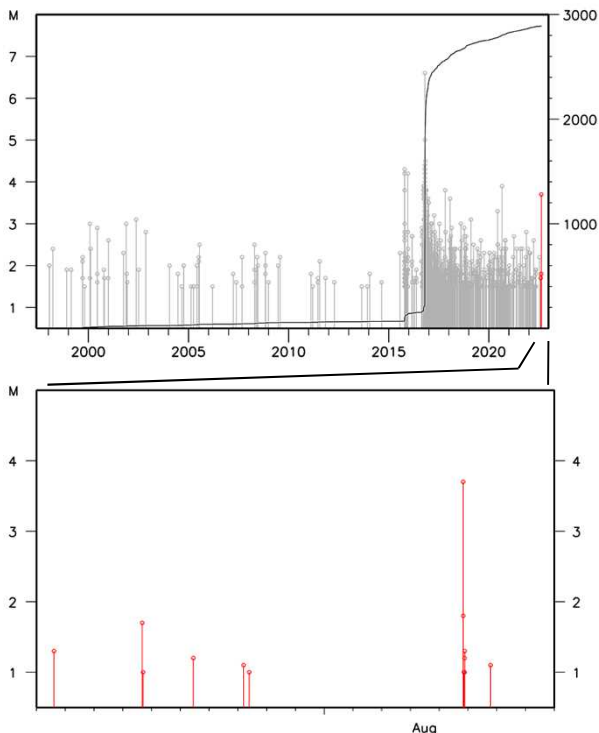


図3 図2の領域a内の規模別地震活動経過図及び回数積算図

(上図:1997年10月1日～2022年8月18日、M \geq 1.5、

下図:2022年8月1日～8月18日、M \geq 1.0、

2022年8月1日以降の地震を赤く表示)

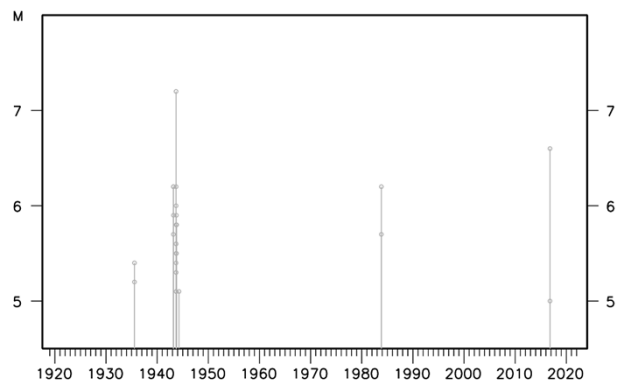


図5 図4の領域b内の規模別地震活動経過図